

第 50 回栃木県オリエントセミナーの開催案内

栃木県オリエント協会
栃 木 県 文 化 協 会

今年も 5 月に、日本オリエント学会、栃木県文化協会、下野新聞社、栃木県立博物館、栃木県オリエント協会など 5 団体共催による「第 50 回記念栃木県オリエントセミナー」を開催します。第 1 回県オリエントセミナーは栃木県立美術館集会室を会場に、昭和 49(1974)年 5 月 11 日開催の三笠宮崇仁殿下による第 1 講座「人類最古のメソポタミア文明」の講演が最初でした。以来 250 講座、延べ 2000 人が参加しています。

さて今年のセミナー第 1 講は、日本オリエント学会常務理事で、立教大学文学部教授の長谷川修一先生に、「日本隊によるイスラエル発掘調査 60 年の歴史—過去、現在、未来—」と題し、3 部構成で進めます。「過去」の部では、日本の調査団がイスラエルでの発掘調査を開始した 1960 年代から 21 世紀初頭までを振り返り。「現在」の部では、21 世紀に入ってからこれまでの調査の概観と、イスラエルにおける考古学を取り巻く現状について。「未来」の部では、今年度本講演者の長谷川修一先生が団長に就任した調査団による発掘調査の今後の展望などについてお話しします。

第 2 講は、日本オリエント学会会員、小林登志子先生に、「アッシリアの戦争とは—シュメル都市国家の戦争からアッシリア世界帝国の戦争へ—」と題し、今年の 1 月に発行した「アッシリア全史」の中から、紀元前 2,000 年頃から約 1400 年の長期的な歴史と 117 代の王を数える「アッシリア」が、なぜ初の世界帝国として成り得たのか、などについて講演していただきます。ご期待ください。

会員の皆様はもちろん、高校生・大学生・一般の方々にもご来場いただき「歴史は同じことを、なぜ繰り返すのか」「歴史から何を学ぶか」など、オリエント史を学びながら、激動する日本はもちろん、ますます目の離せなくなっている「オリエント諸国」について、ぜひ見る目を広めていただければ幸いです。

No.	期 日	演 題		講 師
第一講	5 月 17 日(土) 14:00~16:00	「日本隊によるイスラエル発掘調査 60 年の歴史—過去、現在、未来—」		日本オリエント学会常務理事、 立教大学文学部教授 長谷川 修一 先生
第二講	5 月 24 日(土) 14:00~16:00	「アッシリアの戦争とは—シュメル都市国家の戦争からアッシリア世界帝国の戦争へ—」		日本オリエント学会会員、 小林 登志子 先生

◎会 場／栃木県立博物館講堂 宇都宮市睦町 2-2(栃木県中央公園内)

◎受 講 料／一般 5,000 円、栃木県オリエント協会員・栃木県文化協会員 2,000 円、学生 1,000 円

◎主 催／日本オリエント学会、栃木県文化協会、下野新聞社、栃木県立博物館、栃木県オリエント協会

◎後 援／栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、栃木放送

◎募集人員／定員 50 名(定員になりしだい締め切ります)。

◎申込要領／各協会へ電話、FAX 等で住所、氏名、電話番号を連絡し申し込んで下さい。受講料はセミナー当日、会場受付でお支払下さい。お問合せと申し込みは、月曜～金曜(祭日除く)の午前 9 時から午後 5 時までをお願いします。

◎申込み先／栃木県オリエント協会 〒321-0974 宇都宮市竹林町 321-35 菅家 繁 方

Tel028(622)2684(FAX 兼)番

栃木県文化協会 〒320-8530 宇都宮市本町 1-8 栃木県総合文化センター内

Tel028(643)5288 FAX028(643)5296

*** お車でご来館する方は、県博北駐車場は台数に限りがありますが利用できます。**